

福岡・杷木中に備品贈呈

国際医療福祉大

昨年7月の九州北部豪雨で被災した福岡県朝倉市杷木地区の市立杷木中学校に、国際医療福祉大学(本部・栃木県大田原市)がベルマークで買った備品を送りました。

九州北部豪雨は昨年7月5日から6日にかけて、1時間に100mmを超す大雨に襲われました。朝倉市では川が氾濫し、杷木地区を中心に死者・行方不明者35人という大きな被害が出ました。

2月13日に杷木中学校で贈呈式があり、福岡県大川市にある国際医療福祉大の福岡保健医療学部の学生から、品物の目録が生徒会長に贈られました。学生代表の小川佳南さんは、実は杷木中の卒業生です。実家も被災しました。「自分も医療従事者になるよう頑張るので、杷木

地区も将来に向けて復興して欲しい」とあいさつしました。

品物はポータブルワイヤレスシステム一式とカメラです。避難所となっていた杷木中ではワイヤレスの機械を使う機会が増えましたが、古いこともあって調子が悪く、大学側から希望を聞かれて選びました。清水徹教頭は「学年会や様々な集会などで、有効活用させていただきたい」と喜んでます。

国際医療福祉大学は、東日本大震災をきっかけに2014年10月からベルマーク運動に参加しました。翌年には福岡県の小学校に備品を寄贈したのをはじめ、被災した学校をベルマークで支援する活動を続けています。



贈呈式に出席した杷木中学校の生徒と先生、国際医療福祉大学福岡保健医療学部の学生と職員たち

全国1位に倉敷市立児島小学校

ショウワノート

協賛会社のショウワノート(ベルマーク番号53)の「第44回ベルマークキャンペーン」の結果が発表され、全国1位は1万4418点を集めた倉敷市立児島小学校が選ばれました。小学校以外の部は、4672点を集めた西宮市立甲武中学校でした。

ショウワノートが毎年開催しており、全国を8ブロックに分け、1年間にショウワノートについているベルマークを多く集めた各ブロック上位3位を表彰しています。入賞校には賞状と記念品(百科事典などの教材用書籍かビデオ教材とショウワノート学習帳)を、3000点以上を集めた学校には感謝状と同社の学習帳を贈っています。

第45回キャンペーンは、2018年1月1日から12月31日までにベルマーク財団で検収されたショウワノート・ベルマーク点数が対象となります。

その他の結果は以下の通りです。
【北海道・東北】①国立大学法人宮城教育大学付属小7955点 ②山田町立船越小6391点 ③由利本荘市立新山小4262点
【関東】①さいたま市立木崎小8895点 ②市原市立ちはら台桜小8570点 ③横浜市立駒岡小8563点
【東京】①学校法人田園調布雙葉小8665点 ②日野市立日

野第四小8254点 ③新宿区立早稲田小6914点
【北陸・甲信越】①長野市立塩崎小6433点 ②黒部市立中央小5701点 ③長野市立篠ノ井西小4787点
【東海】①名古屋市立西山小3833点 ②国立大学法人奈良女子大学付属小3,700点 ③該当なし
【近畿】①学校法人四條畷学園小6914点 ②、③該当なし
【中国・四国】①下関市立勝山小4862点 ②尾道市立高須小4655点 ③倉敷市立茶屋町小4494点
【九州・沖縄】①那覇市立小緑小7420点 ②久留米市立合川小5275点 ③大分市立西の台小4174点

東北支援に感謝状

イトーヨーカ堂が累計950万点

東日本大震災の被災地を支援しているイトーヨーカ堂(本社・東京都千代田区)に対し、ベルマーク教育助成財団は3月3日、感謝状を贈りました。

東京都江戸川区の大型商業施設「アリオ葛西」で開かれた「第19回東北かけはしプロジェクト」の開始セレモニーで、財団の中島泰常務理事が三枝富博社長に感謝状

を手渡しました。同社やセブン&アイグループ傘下の店舗でベルマークを集め、財団を通じて東北の被災地の学校に寄贈する運動を全国で展開しています。協賛会社の麒麟ビバレッジの提案で2012年に運動を始め、累計点数は今春で約950万点に上ります。



エプソンが複合機とプリンターの新商品

協賛会社のエプソン販売が、ビジネスインクジェット複合機『PX-M884F』とビジネスインクジェットプリンター『PX-S884』を発売しました。新商品に搭載されるインクパックが、新たにベルマーク対象に追加されます。回収1個につき、5点がつきます。

新商品はともにインクカートリッジよりも大容量化が可能なインクパックシステムを搭載しています。インクパックをプリンター下部に内蔵して、省スペースと大容量インクを両立させました。インク容量は、モノクロ最大1万枚、カラー最大5千枚で、面倒なインク交換の回数が減ります。

ファーストプリントは、エプソンのビジネスインクジェットプリンターの中で最速です。さらに用紙対応の幅も広がりまし



第一生命・団体年金サービス部が6864.6点寄贈

第一生命保険(本社・東京都千代田区)の団体年金サービス部がマーク5264.6点とインクカートリッジ1600点をベルマーク財団に寄贈しました。部内のワーキング・グループが社内や一部関連会社に呼びかけ、6月中旬から昨年末までに集めたマークを会社ごとに仕分け、集計して、「へき地や被災地支援に役立ててください」と1月29日に財団に持参しました。

団体年金サービス部ドリーム年金室の皆さんは「本格的に始めて2年目です。まだ少ないですが、インクカートリッジは昨年の4～5倍になりました。引き続き社内で呼びかけていきます」と話しました。

子どもの時にマークを集めた覚えのある社員や、マークを切り取ることが習慣になっているお母さんも多いらしく、「行き場がないマークはまだあるはず」と言います。



◎「アルミ付き紙パック」キャンペーン

協賛会社の日本テトラパックが「アルミ付き紙パック回収チャレンジ」キャンペーンを始めました。7月16日までにエントリー登録し、9月20日(当日発送分)までに送ったテトラパックのアルミ付き紙パックの重量に応じて、豪華賞品が贈られます。

エントリーは2種類。「初めてチャレンジ賞」は、期間中に集めた重量、「継続は力です賞」はテトラパックのベルマーク運動参加開始時からキャンペーン終了時までの期間に集めた重量に応じて、それぞれ合計14団体を表彰し、副賞を贈ります。

◎自動車リサイクル工場見学募集

協賛会社のNGP自動車リサイクル事業協同組合は、組合加盟の工場を見学する小学校を募集しています。乗れなくなった自動車から使える部品を取り出すなどして資源化していく過程が学べます。北海道・三重・兵庫・和歌山・島根・福岡・大分・鹿児島各道県の計11工場で実施予定。詳細は財団HPの「協力・協賛会社」→「協賛会社」→「協賛会社トピックス」の項に掲載しています。希望する学校は見学の2カ月前までに、NGP協組本部事務局(電話03・5475・1208、ファクス03・5475・1209、Eメールngphonbu@ngp.or.jp)にご連絡を。